



つばさ

多摩市立聖ヶ丘小学校
特別支援教室 つばさ
令和7年 4月9日
つばさだより 第1号

さあ 出発だ。あわてず、焦らず「ゆとり」を大事に！

桜が過ぎ、新緑を迎えそれぞれの新しい生活が始まります。令和7年度の学校生活のスタートです。本年もよろしくお願いいたします。入学や学年の進級を迎え、子供たちからも「ワクワク」「どきどき」の気持ちが伝わってきます。一人一人に寄り添いながら一緒に進んでいきたいと思います。4月から6月までの季節の中では多くの変化が続きます（いわゆる5月病という言い方もありますが、昨今は連休明けの6月までそうした症状になるとも言われます）。新しい生活や環境の中で、子供たちは新しい出会いや、新しい活動の中で、「楽しみ」や「ワクワク」がある一方、「緊張」や「疲労」という面も出てきます。自分のモチベーションをどう調整していくか、悩ましい場面もあります。新学期のスタート、つばさ教室ではそうした自分の状態を「相談」していくことを子供たちに伝えていきます。小学生段階で自分の状態に気付き、言語化するのには難しいので、言葉を補って気持ちの表出を促したり、なんとなく子ども達の言葉に耳を傾けたりという「相談」の型をやわらかく一緒に共有して進めていきます。また、学校のみならず、ご家庭でも新しい「チャレンジ」「スタート」と同時に、この変化の季節を「敏感になっているかも」という「ゆとり」の感覚で見守っていただければと思います。（大人も同様ですね。）

何か気になること、ご心配な点があるときにはお気軽に「つばさ」までご相談ください。

「始まり」の一声 先生より

先生…今自分が思っていること、考えていることを話し、「自分のことを知る。」時間にしましょう。

先生…新しい学年。友達。先生。遊び。勉強。行事。生活。自分なりのやり方を一緒に見つけて行こう。

先生…ほっと安心できる居場所づくりができればいいなと思っています。よろしくお願いいたします。

先生…子供たちの気持ちに寄り添い、楽しく学べる場となるよう支援していきます。よろしくお願いいたします。

先生…子供たちが笑顔で過ごすことができるように、サポートしていきます。よろしくお願いいたします。

「行ってきます！」の一言 先生より

元気で明るいつばさっ子たちに私自身も元気をもらう日々でした。保護者の皆様からも、お会いした時や連絡帳を介して優しいお言葉をいただき、とても励みになりました。お別れすることは悲しくもありますが、これからの出会いも大切に大きく羽ばたいていきたいと思っています。8年間ありがとうございました。